



# 図書館 だより

図書館 ☎69♦3706

## 「おしえて!図書館」

Q もうすぐ父の日。プレゼントをしたいのですが参考になる本はありますか?

A 本を贈るのも素敵です。また、参考になる情報の載っている本から選んでみてはいかがでしょう。父の日には、心をこめた贈り物が一番ですね。



## ○こんな本はいかがですか?



持つき男の小道具30  
落合正勝/著 小学館

モノで問われる持ち主の品位。モンブランの万年筆、榮豊齊の判子、イーセン・アーレンの椅子…。一流品ならではの、もちものの「思想」と「由縁」がわかる30話。「サライ」連載「もちものが語る」を再編集して単行本化。

Q 雨の日が楽しくなるような絵本ありますか?

A 雨のお話はもちろん、雨を心待ちにしている傘やカッパ、雨あがり空にかかる虹…雨の日がウキウキしそうな絵本がたくさんあります。



## ○こんな本はいかがですか?



あめがだーいすき  
そうまこうへい/作  
かとうあやこ/絵  
佼成出版社

おてんばな女の子も、泣き虫の女の子も、元気な男の子も、甘えん坊の男の子も、みんなみんな、雨がだーいすき。「雨、ふらないかなあ」そう思っている子もいっぱいいるんだ、ほんとだよ。雨が好きになる絵本。

絵本以外にも、工作をしたり、歌を歌ったり、室内遊びも楽しそうですね♪参考になる本がいろいろありますよ。

※貸出中の場合もあります。見当たらないときはお気軽に職員にお尋ねください。

■基本は物々交換  
全国には120以上も水族館があり、基本的にはお互い好意を持っていけば生き物の交換や寄贈が可能です。都市の大型水族館より豊かな海がそばにある地方水族館のほうが「交換アイテム」は豊富で、「都会の大きな水族館に負けないようにがんばりましょう」と、同盟を結んで昔から地方同士で助け合っています。

竹島水族館では南方系のキレイなサンゴ礁の魚やウツボ類、温帯地方の生き物などはほとんどが交換により入手しています。この交換で相手の水族館に水槽を載せたトラックで出向くのが我々の「出張」です。この出張は生き物をもらうついでに相手水族館の見学もできるので、職員にとっては楽しみです。中には我々が水族館を見学している隙に、相手水族館が自館のいらぬ生き物を在庫一掃的にトラックの水槽にぶちこんで知らぬ顔をして見送り、戻って水槽のフタを開けると要望の生き物以外

のものがたくさん入っていた、ということがあります。また、毒のある生き物だと知らずに水槽に積み込み、帰りの輸送中にほとんどの魚が毒にやられてフラフラになってしまった、というハプニングもありました。

生き物をいただく代わりに竹島水族館からは深海の生き物を交換要員として提供します。「コレあげるからコレちょうだい」という物々交換が基本条件。

■深海生物が武器  
竹島水族館は全国屈指の深海生物保有水族館なので、何か欲しい生き物があると、この深海生物の在庫を目的水族館にチラつかせて「ほおら、いっぱいあるよ、欲しいでしょ、欲しいでしょ」と言っ

ておびき寄せ、目的水族館から欲しい生き物ももらいます。そのお札に相手が欲しがっている深海生物をあげるのです。特にタカアシガニは全国の水族館への供給源で、全身トゲトゲのイガグリガニなどと一緒に時には飛行機に乗せて海外まで運びます。深海で暮らしていた生き物たちは、まさか自分が飛行機に乗って海外の水族館に行くことになるのは驚きでしょう。行き先はヨーロッパや中国が多く、無事に届いてしつかり飼育されているのか心配になります。実は食べられてしまっていないだろうか。こうした旅立つ生き物や新しく来る珍しい生き物のおかげで、いつでもいろいろな生き物が展示でき



学芸員 小林龍二

竹島水族館  
☎68♦2059